

報道関係者各位  
プレスリリース

## 十和田八幡平国立公園内奥入瀬溪流内（青森県十和田市）で 「QR Translator」を活用した多言語案内を開始！

株式会社PIJIN（本社：東京都中央区、代表取締役：高岡 謙二）が開発・運営を手がけている多言語表示サービス「QR Translator」が、青森県十和田市で実施する多言語案内事業に採用され、令和元年10月1日より、十和田八幡平国立公園内の奥入瀬溪流内で利用がスタートしました。

十和田市では、十和田八幡平国立公園における外国人観光客の受入態勢の充実を図る事を目的に、奥入瀬溪流内に設置されている自然についての解説看板にQRコードを設置、「QR Translator」による多言語案内を開始しました。貼付されているQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、現在地の情報や国立公園のルールやマナーなどを5言語で閲覧することができます。

### ■対象看板 奥入瀬溪流遊歩道から確認できる既設看板 18箇所

（Webサイトで現在地情報や国立公園のルールやマナーを掲載。また、石ヶ戸休憩所には看板とは別に、奥入瀬溪流エリア全体の案内などを掲載したトップページのQRコードを貼付）

### QRコード貼り付け例



## ■対応言語（2019年10月1日現在）

- ・人力翻訳（5言語）：日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語



参考：QRコードを読み取り表示されるページ（左から日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語）

## ■これまでの取組

昨年度は、十和田湖畔地区（案内板等14箇所）において実証実験を実施。

平成31年1月から6月までのアクセス数は約750回。（日本語46%、英語25%、繁体字21%）

<https://jp.qrtranslator.com/news/news-works/towada-20181227/>

## ■青森県十和田市観光情報

最新情報は以下のホームページをご確認ください。

一般社団法人十和田奥入瀬観光機構

<https://www.towada.travel/>

## 【多言語表示サービス「QR Translator」について】

QR Translatorは株式会社PIJINが提供しているQRコードを使った多言語表示サービスです。ユーザーがQRコードをスキャンするだけで、ユーザー端末の設定言語が認識され、自動的に翻訳文を表示します。

## QRコード（二次元コード）を利用した、情報インフラ・プラットフォームサービス

外国人が母国語で情報が読めるように、多言語のコンテンツをつくる仕組みを提供



### ■利用イメージ

大阪府泉佐野市、奈良県奈良市、愛媛県内子町



### ■主な機能

- ・専用アプリ不要：QRコードをスキャンするだけなので、専用アプリのダウンロード不要
- ・39言語対応：最大15言語の選択が可能
- ・貼り替え不要：web上で簡単にコンテンツの修正・更新が可能
- ・音声読み上げ機能つき：障がい者の方にも情報を届けられるインフラ・サービス

### ■主な受賞実績

- ・2016年 世界発信プロジェクト「革新的サービス大賞」
- ・2017年 Keihanna Venture Championship「特別賞」
- ・2017年 九都県市のきらりと光る産業技術表彰「東京都代表」
- ・2018年 ジャパン・レジリエンス・アワード「強靱化大賞」

※「QR Translator」は株式会社PIJINの登録商標です。

※「QR Translator」の仕組みは日本、米国、ロシア、中国、香港、マカオ、韓国で特許を取得済です。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社PIJIN

担当：辻

press@qrtranslator.com

03-4531-9690